

研究タイトル:
心理学的介入の効果を微細に捉えるための新たな評価法開発
氏名: 秋田 裕太 / AKITA Yuta

E-mail: akita@yonago-k.ac.jp

職名: 講師

学位: 博士(教育情報学)

所属学会・協会: 日本心理学会, 日本教育心理学会, 日本テスト学会, 日本武道学会

キーワード: 特異項目機能, 項目反応理論, テスト理論, 剣道授業

**技術相談
提供可能技術:**

- ・ヒトの「心理特性」や「学力」を測定するために用いられる質問紙の立案作成と運用
- ・全国学力学習状況調査や英検などで運用されている「項目反応理論」の実用
- ・運動スポーツに対する競技者の心理面を多面的かつ詳細に評価する手法開発


研究内容: 心理学的介入の効果を微細に捉えるための新たな評価法開発

教育学分野および心理学分野では、心理特性の変化を捉える一手法として、同一対象者に対して同一質問紙を用いた繰り返し測定が広く行われている。その前提として当該質問紙の品質保証は必須であり、申請者が取り組んできた研究以外には類を見ない。現在の課題としては、心理質問紙に多く見られる 3 件法以上を用いたケースについてである。本研究では、コンピュータ・シミュレーションによって品質保証のための技術を開発し、実データによってその技術の実用可能性を検証する。この研究によって、効果測定に用いられる心理質問紙の品質保証に広く貢献することが期待され、より微細な心理状態の把握を実現できる

担当科目

 健康・スポーツ科学 I, ダンス&アダプテッドスポーツ, 保健・体育 V, その他.
 (保健体育科主任として、体育科目全ての成績処理。)

過去の実績

東北大学 総長賞(2022 年 3 月)

**近年の業績
(研究・教育論文、特許含む)**
【論文】

濱中良・大野政人・秋田裕太ほか(2025)高専生を対象としたアダプテッド・スポーツ授業の教育効果:スポーツ好嫌度の変化と種目間の楽しさの検証, アダプテッド・スポーツ科学, 23(1), 29-41. (分析担当者として)

秋田貴之・秋田裕太(2023)介護予防教室に通う地域在住高齢者の臨床傾向:生活機能と身体機能に着目して, 医療の広場, 63(8), 28-32. (分析担当者として)

秋田裕太(2021)同一受検者集団から得られた介入前後データの因子構造の検討:多母集団同時分析を適用した試み, 日本テスト学会誌, 17, 97-101. (単著)

【科研費】

心理学的介入の効果を微細に捉えるための新たな評価法開発:特異項目機能を用いた検討, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究, 2025 年 4 月から 2030 年 3 月まで, 課題番号 25K17149. (研究代表者として)

武道で知的障害児の心を育めるか?:特別支援教育で実践する新たな剣道授業の開発, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽), 2023 年 6 月から 2026 年 3 月まで, 課題番号 23K17597. (研究分担者として)

提供可能な設備・機器:
名称・型番(メーカー)

評価方法のノウハウについて提供可能。